

# 生体機能と創薬シンポジウム 2017

## プログラム集（ネット版）

会期：2017（平成29）年8月24日（木）、25日（金）

会場：京都大学薬学研究科 医薬系総合研究棟

実行委員長：金子 周司（京都大学大学院薬学研究科教授）

主催：公益社団法人日本薬学会薬理系薬学部会

共催：京都大学大学院薬学研究科

後援：公益社団法人日本薬理学会

公益社団法人日本薬学会近畿支部

## 生体機能と創薬シンポジウム 2017

### 実行委員長

金子 周司(京都大学)

### 実行委員

南 雅文(北海道大学)

中川 貴之(京都大学)

村山 俊彦(千葉大学)

白川 久志(京都大学)

池谷 裕二(東京大学)

川畑 篤史(近畿大学)

西田 基宏(生理学研究所)

橋本 均(大阪大学)

小坂田 文隆(名古屋大学)

上原 孝(岡山大学)

今泉 祐治(名古屋市立大学)

津田 誠(九州大学)

加藤 伸一(京都薬大)

岩崎 克典(福岡大学)

大矢 進(京都薬大)

香月 博志(熊本大学)

### 事務局

京都大学大学院薬学研究科生体機能解析学分野

606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46-29

TEL: 075-753-4541

FAX: 075-753-4542

molpharm@pharm.kyoto-u.ac.jp

### ご挨拶

日本薬学会薬理系薬学部会では毎年、8月下旬に「生体機能と創薬シンポジウム」を開催し、会員の研究発表および情報交換の場として、また若手研究者の育成と奨励の場として多くの参加者をいただいています。今年は京都大学薬学研究科に4月新しく完成したばかりの医薬系総合研究棟で開催いたします。2日間にわたり特別講演、創薬シンポジウム、部会奨励賞講演、優秀発表賞選考、ポスター発表の各セッションを設け、1日目には国公立薬理学関連教科担当教員会議との共催により教育講演、教員会議の時間帯には若手スイーツセミナーを行います。なお1日目の夕刻には京都鴨川アートグレイスウェディングヒルズ(左京区吉田河原町 14-5)にて懇親会を予定しております。

猛暑の中にも秋の気配を川縁や空に感じられる京都にて、多数の皆様のご発表とご参加、そして活発な討論を期待しております。(金子 周司)

## 参加者へのご案内

### 1. 会場案内

京都市左京区吉田下阿達町 46-29 京都大学薬学研究科・薬学部  
医薬系総合研究棟（京阪神宮丸太町駅より徒歩6分）

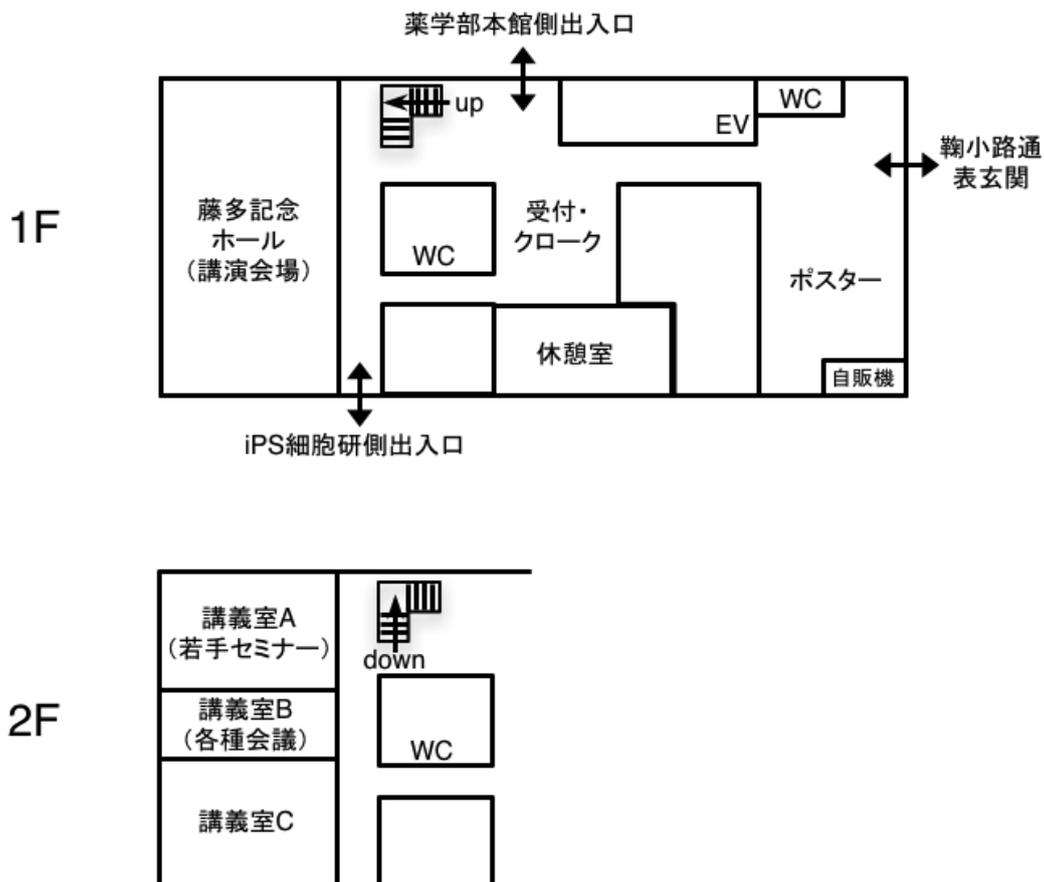


交通については、Web サイトに詳細情報がありますので、スマホやPCでご覧ください。  
[soyaku.pharm.kyoto-u.ac.jp](http://soyaku.pharm.kyoto-u.ac.jp)



## 会場レイアウト

医薬系総合研究棟（薬学部正門より南へ3つ目のビル）



1 階 藤多記念ホール（講演会場）

アウトリーチエリア

（ポスター会場）

ラーニングコモンズ

（休憩室）

ロビー（受付・クローク）

2 階 講義室 A

（若手スイーツセミナー）

講義室 B（各種会議）

講義室 C（本部・来賓室）

※ 会場となる医薬系総合研究棟は夜間（18:00-8:00）に立入できません。

## 2. 総合受付

開設時間

8月24日（木）8:30-18:00

8月25日（金）8:30-15:00

開設場所

医薬系総合研究棟 1階ロビー

### (1) 事前登録済みの方

総合受付にてお名前を申し出ていただき、参加証（ネームカード）とプログラム要旨集をお受け取りください。

### (2) 当日参加の方

総合受付にて参加登録票に記入の上、現金にて参加費をお支払いください。  
参加証（ネームカード）とプログラム要旨集をお渡しします。

一般当日参加費 6,000円

学生当日参加費 1,000円

懇親会参加費（一般・学生） 5,000円

※懇親会への参加申込は24日15:00に締め切ります。

## 3. クローク

開設時間

8月24日（木）8:30-18:00

8月25日（金）8:30-17:30

開設場所

医薬系総合研究棟 1階ロビー

- ・貴重品はお預けにならないよう、お願いします。
- ・傘は会場備え付けの傘袋をお使いになってお持ちになるか、傘立てをお願いします。
- ・懇親会は薬学部より徒歩6分の京都鴨川アートグレイスウェディングヒルズにて行います。懇親会に参加される先生は必ず預けた荷物をお引き取りになってから、懇親会場へお越しください。

#### 4. 座長・PC 受付

開設時間

8月24日(木) 8:30-16:00

8月25日(金) 8:30-15:00

開設場所

医薬系総合研究棟 1階ロビー

##### (1) オーガナイザー・座長・審査員の先生へ

- ・口頭発表セッション座長を務められる先生は、進行表と機器説明をお渡ししますので、担当セッション開始前に座長・PC 受付へお立ち寄りください。
- ・口頭の優秀発表賞審査員の先生には審査表をお渡ししますので、座長・PC 受付にお立ち寄りください。
- ・進行は座長の先生にお任せしますが、終了時刻の厳守にご協力ください。

##### (2) 講演者の先生へ：データを USB ディスクで持参される場合

- ・会場での映写には、PowerPoint 2016 をインストールした Windows10 ノート PC を用います。データを Mac で作られた場合は事前にテキスト表示がズレないかどうか、Windows PC で確認してからお持ちください。
- ・座長・PC 受付に会場と同一仕様 PC がありますので、スライド表示を確認の上、PowerPoint データをお預けください。
- ・会場ではマルチスクリーンに映写されますので、レーザーポインタは使用できません。受付でエアビームの使用法をご確認ください。
- ・発表者卓にあるエアビームあるいは遠隔キーボードとマウスを用いて、モニタを見ながら PC を操作してください。

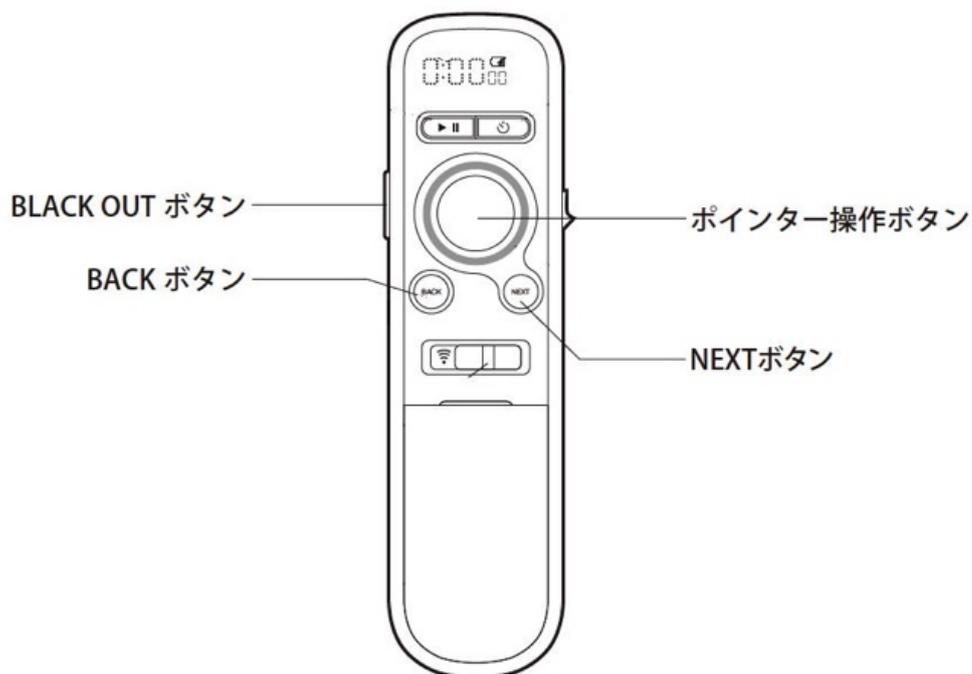
##### (3) 講演者の先生へ：ご自身の PC を持ち込まれる場合

- ・お使いになる PC にエアビームを使うためのドライバアプリをインストールしますので、座長・PC 受付までお使いになる PC をご持参ください。
- ・その後、持ち込み PC を会場前方左にある操作係員までお持ちください。
- ・会場ではマルチスクリーンに映写されますので、発表者卓にあるエアビームあるいは遠隔キーボードとマウスを用いて、モニタを見ながらスライドを操作してください。

## 〈エアビーム〉 リモコンで画面内のポインタを操作する装置です

対応 OS : Windows 7/8/10、MacOS 10.5 以上

受信機に USB ポートを使用します



### 〈エアビーム〉使い方のコツ

エアビームは、手首の動き・距離を認識して反応しますので、レーザーポインタのように腕全体を動かしていただく必要はありません。

胸～腰の高さに腕を固定したまま手首だけで操作すると非常にラクにご使用いただくことができます。



## 5. ポスター受付

開設時間

8月24日（木）8:30-16:00

8月25日（金）8:30-15:00

開設場所

医薬系総合研究棟 アウトリーチエリア（ポスター会場）

### (1) ポスター座長・審査員の先生へ

- ・ポスター座長および審査員の先生は、審査用紙とランチチケットをお渡ししますので、25日昼までにポスター受付でお受け取りください。
- ・ポスター発表審査用紙は、示説終了後、速やかにポスター受付までご提出ください。

### (2) ポスター発表者の先生へ

ポスター掲示可能時間帯

8月24日（木）8:30から8月25日（金）16:00まで

会場 医薬系総合研究棟 アウトリーチエリア

ポスター示説時間

P01-P10の奇数番号およびグループA, C, E, G：8月25日（金）11:30-12:30

P01-P10の偶数番号およびグループB, D, F, H：8月25日（金）13:00-14:00

- ・ポスターボード90cm幅、180cm高さ以内で製作ください。
- ・ポスター番号は予めポスターボード上部（枠外）に掲示されています。
- ・発表者ラベル（名札）と25日のランチチケットをお渡ししますので、ポスター受付にお立ち寄りください。ランチBOXは2階講義室Aにて25日11:00より14:00の間にチケットと引き替えてください。
- ・P01からP17までのポスターは、ピクチャーレールに挟んで吊す形で掲示していただきます。A4～A3判ポスターを持参されA0サイズの台紙が必要な場合はポスター受付に申し出てください。
- ・示説時間帯には発表者ラベルをつけて、説明と討論を行ってください。
- ・ポスター発表賞の対象となる学生・院生は、グループを確認し、座長の指示により発表4分、質疑3分にてプレゼンしてください。

- ・ポスター優秀発表賞の審査結果は8月25日（金）15:00頃に総合受付前ロビー掲示板にて発表します。
- ・受賞者の方は16:10から藤多記念ホールで行われる表彰式にご参列ください。

## 6. 会場内でのお願い

- ・会場ではネームカード着用をお願いいたします。
- ・京都大学キャンパス内は全面禁煙です。
- ・休憩室はロビー奥のラーニングコモンズに設けます。
- ・呼び出し・伝言には、医薬系総合研究棟1階ロビーに設ける掲示板をお使いください。

## 7. 会議

### (1) 国公立薬理学関連教科担当教員会議役員会

日時：8月24日（木）12:30-13:30

場所：医薬系総合研究棟 2階講義室 A

### (2) 生体機能と創薬シンポジウム 2017 実行委員会

日時：8月24日（木）12:30-13:30

場所：医薬系総合研究棟 2階講義室 B

### (3) 国公立薬理学関連教科担当教員会議

日時：8月24日（木）14:30-16:30

場所：医薬系総合研究棟 1階藤多記念ホール

### (4) 優秀発表賞（口頭）選考委員会

日時：8月25日（金）11:45-12:30

場所：医薬系総合研究棟 2階講義室 B

### (5) 日本薬学会薬理系薬学部会常任世話人会

日時：8月25日（金）12:30-13:30

場所：医薬系総合研究棟 2階講義室 B

## 8. 認定シールの交付

薬剤師認定シールは 24 日・25 日それぞれ 3 単位を総合受付で配布します。

## 9. 懇親会

日時：8月24日（木）18:00-20:00

場所：京都鴨川アートグレイスウェディングヒルズ

参加費：5,000 円

（総合受付にて 24 日

15:00 まで承ります）

※懇親会場での当日参加は受け付けられないのでご注意ください。



## 10. ランチ情報

(1) 南部生協会館（会場より北へ徒歩 2 分）が次の時間帯に営業しています。カフェテリア形式でどなたでも現金でご利用になれます。

営業時間

8月24日（木）11:00-14:30

8月25日（金）11:00-14:30

### メニュー税込み価格例

ネギトロユッケ丼 M	432 円	若鶏梅肉包揚げ	298 円
豚塩カルビカレー M	370 円	麻婆豆腐	172 円
醤油ラーメン	345 円	鯖しょうが煮	172 円
唐揚げ冷麺	410 円	冷奴	42 円
冷やしそば・うどん	259 円	味噌汁	32 円
冷やしかき揚げそば	302 円	ご飯 S	86 円

(2) ポスター発表者およびポスター審査員の先生は、25 日 11:00 から 14:00 の間に、2 階講義室 A にてランチ BOX をチケットと引き替えください。

## 日程一覧表

8月24日(木)				8月25日(金)	
1F 藤多記念ホール	アウトリーチ エリア	2F 講義室 A	アート グレイ ス京都	1F 藤多記念ホール	アウトリーチ エリア
9:25 開会の辞	ポスター 掲示			9:00-10:00 優秀発表賞 選考シンポジウム	ポスター 掲示
9:30-11:00 創薬シンポジウム1 免疫調節ターゲット としてのイオンチャネル				10:00-11:30 創薬シンポジウム3 精神疾患の創薬に向けた 基礎・橋渡し研究	
11:00-12:30 創薬シンポジウム2 翻訳後修飾によるシグナル 伝達の新たな分子制御 機構とその創薬応用					
13:30-14:30 教育講演 なぜ実務実習で薬理学の 知識が定着しないのか？ 中村明弘(昭和大薬)					13:00- 14:00 示説 (後半)
14:30-16:30 国公立薬理学関連教科 担当教員会議		14:30- 16:30 若手 スイーツ セミナー 海外留学 update		14:00-15:30 創薬シンポジウム4 薬理学的アカデミア研究 から医師主導治験への 橋渡し	16:00 までに ポスター 撤去
16:30-17:45 特別講演 薬理学・創薬・産学連携 成宮 周(京大院医)			15:30-16:10 薬理系薬学会奨励賞 授与式・受賞者講演		
				優秀発表賞・ポスター優秀 発表賞表彰式、閉会の辞	
			18:00- 20:00 懇親会		

※この他の会議日程と会場についてはP.9をご覧ください。

## 講演プログラム

8月24日(木) 医薬系総合研究棟 藤多記念ホール

9:25 開会の辞 実行委員長： 金子 周司 (京大院薬)

### 9:30-11:00 創薬シンポジウム1

免疫調節ターゲットとしてのイオンチャンネル

オーガナイザー：大矢 進 (京都薬大)

白川 久志 (京大院薬)

9:30 胚中心 B 細胞におけるカルシウム流入の役割

馬場 義裕 (九大生体防御医研)

10:00 炎症性中枢疾患と単球系譜細胞 TRP チャンネル

白川 久志 (京大院薬)

10:20 軟骨細胞機能を制御する  $\text{Ca}^{2+}$  関連イオンチャンネルの役割

山村 寿男 (名市大薬)

10:40 炎症性疾患の創薬標的としてのカリウムチャンネル

大矢 進 (京都薬大)

### 11:00-12:30 創薬シンポジウム2

翻訳後修飾によるシグナル伝達の新たな分子制御機構とその創薬応用

オーガナイザー：西田 基宏 (生理研)

津田 誠 (九大院薬)

11:00 一酸化窒素によるエピゲノム変化を制御する化合物の単離と薬理作用

上原 孝 (岡山大院薬)

11:30 NAD 依存的脱アセチル化酵素 SIRT2 を標的とした創薬研究から見出された脂質代謝物の新しい機能の発見

伊藤 昭博 (東京薬大)

12:00 GTP 結合タンパク質 Drp1 のシステイン修飾を介した心筋早期老化の分子制御機構と創薬への適用

西田 基宏 (生理研)

13:30-14:30 教育講演

座長：武田 弘志（国際医療福祉大薬）

なぜ実務実習で薬理学の知識が定着しないのか？

～薬剤師に求められる薬理的観点～

中村 明弘（昭和大薬）

14:30-16:30 【藤多記念ホール】

平成 29 年度国公立薬理学関連教科担当教員会議

14:30-16:30 【2 階講義室 A】 若手スイーツセミナー

海外留学 update ～あなたは海外留学する？しない？～

高田 和幸（京都薬大）

新谷 紀人（阪大院薬）

藤田 和歌子（長崎大院薬）

米澤 淳（京大病院薬剤）

16:30-17:45 特別講演

座長：赤池 昭紀（京大名誉教授）

薬理学・創薬・産学連携

成宮 周（京大院医）

18:00-20:00 【京都鴨川アートグレイスウェディングヒルズ】

懇親会

8月25日(金)

医薬系総合研究棟 藤多記念ホール

9:00-10:00 優秀発表賞選考シンポジウム

座長：石川 智久 (静岡県大薬)

西田 基宏 (生理研)

9:00 心不全モデルマウスにみられるうつ様症状に対するシグマ1受容体刺激薬の作用効果

篠田 康晴 (東北大院薬)

9:20 マウス共感行動の調節に関する薬理的検討

坂口 哲也 (東大院薬)

9:40 脳梗塞後の糖代謝異常に対する orexin-A の脳-肝連関を介した制御機構の解明

原田 慎一 (神戸学院大薬)

10:00-11:30 創薬シンポジウム3

精神疾患の創薬に向けた基礎・橋渡し研究

オーガナイザー：南 雅文 (北大院薬)

橋本 均 (阪大院薬)

10:00 うつ病モデルと慢性痛モデルにおけるドパミン神経活動の変調：  
抑うつ様行動とうつ病をつなぐもの

南 雅文 (北大院薬)

10:30 精神疾患の分子病態解析と創薬：疾患モデルからの新たなアプローチ

橋本 均 (阪大院薬)

11:00 画期的な抗うつ薬ケタミンの最新知見について

橋本 謙二 (千葉大社会精神保健セ)

11:30-12:30 ポスター示説 (P01-10 奇数およびグループ A, C, E, G)

13:00-14:00 ポスター示説 (P01-10 偶数およびグループ B, D, F, H)

14:00-15:30 創薬シンポジウム4

薬理学的アカデミア研究から医師主導治験への橋渡し

オーガナイザー：中川 貴之（京大病院）

小坂田 文隆（名大院創薬）

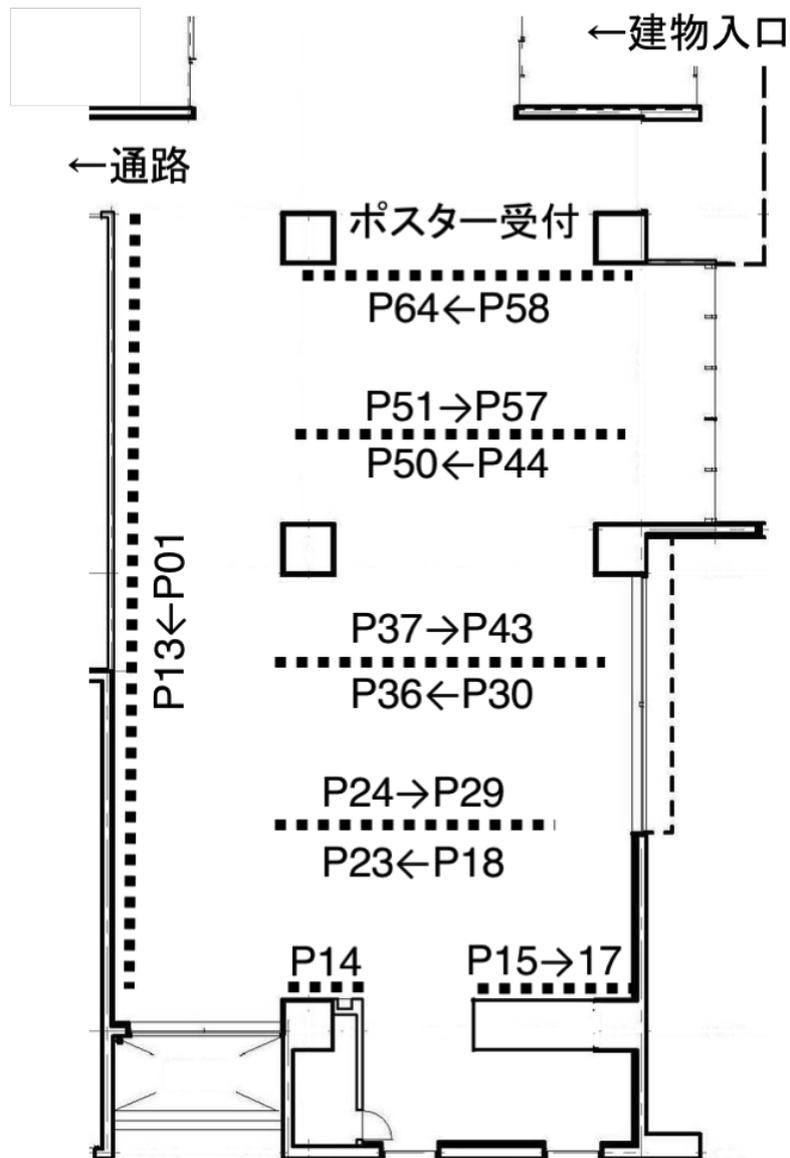
- 14:00 有害事象ビッグデータから副作用の分子メカニズムを解明する  
金子 周司（京大院薬）
- 14:18 抗がん剤誘発末梢神経障害のバイオマーカー同定とドラッグ・リポジ  
ショニングによる新規治療法確立の試み  
今井 哲司（京大病院薬剤）
- 14:35 眼難治疾患に対する VCP ATPase 阻害剤による新規神経保護治療法  
開発 ―基礎研究～医師主導治験―  
池田 華子（京大病院臨床研セ）
- 15:02 長鎖ポリリン酸による潰瘍性大腸炎に対する基礎研究～医師主導治験  
藤谷 幹浩（旭川医大消化器・血液腫瘍）

15:30-16:10 薬理系薬学部会奨励賞授与式・受賞者講演

座長：南 雅文（北大院薬）

- 15:30 T型カルシウムチャネルの神経薬理学的研究  
矢吹 悌（東北大院薬）
- 15:50 難治性消化管疾患の病態制御における温度感受性 TRP チャネルおよ  
びセロトニン 5-HT<sub>3</sub> 受容体の役割解明  
松本 健次郎（京都薬大）
- 16:10 表彰式（優秀発表賞・ポスター優秀発表賞）  
閉会の辞 実行委員長： 金子 周司（京大院薬）

# ポスター会場レイアウト



## ポスタープログラム

掲示可能：8月24日（木）9:00より8月25日（金）16:00まで

医薬系総合研究棟 アウトリーチエリア（ポスター会場）

示説時間帯：

P01-10 奇数およびグループ A, C, E, G 8月25日（金）11:30-12:30

P01-10 偶数およびグループ B, D, F, H 8月25日（金）13:00-14:00

ポスター審査：学生・院生は説明4分、質疑応答3分にて順番に説明

※ P01-P10は審査対象外

審査グループおよび座長

演題番号	グループ	示説時間帯	座長
P01-P10		奇数：前半 偶数：後半	
P11-P17	A	11:30-	久米 利明（京大院薬）
P18-P23	B	13:00-	米澤 淳（京大病院）
P24-P29	C	11:30-	北村 佳久（立命館大薬）
P30-P36	D	13:00-	関口 富美子（近畿大薬）
P37-P43	E	11:30-	安東 嗣修（富山大院薬）
P44-P50	F	13:00-	新谷 紀人（阪大院薬）
P51-P57	G	11:30-	天野 大樹（北大院薬）
P58-P64	H	13:00-	金田 勝幸（金大院薬）

## 一般ポスター演題 (P01-P10)

示説時間帯

奇数番号：8月25日(金) 11:30-12:30

偶数番号：8月25日(金) 13:00-14:00

- P01 植物由来ポリフェノールの神経変性疾患に対する作用  
○繁森 英幸<sup>1</sup>、宮前 友策<sup>1</sup>、栗栖真奈美<sup>2</sup>、中曽根理絵<sup>2</sup>、松浦 大輔<sup>3</sup>、金谷 裕敏<sup>3</sup>、谷野 伸吾<sup>3</sup>、花木 瑞穂<sup>4</sup>、村上 一馬<sup>4</sup>、入江 一浩<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>筑波大生命環境、<sup>2</sup>筑波大院生命環境、<sup>3</sup>バスクリン、<sup>4</sup>京大院農)
- P02 ヒト滑膜肉腫細胞株 SW982 における伸展活性化カチオンチャンネル Piezo1 の機能発現  
鈴木 貴久<sup>1</sup>、○波多野 紀行<sup>1</sup>、鈴木 裕可<sup>1</sup>、村木 由起子<sup>1</sup>、村木 克彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>愛知学院大薬)
- P03 LPS に誘発されるドパミン作動性神経細胞死に対する河内晩柑果皮および含有成分オーラプテンの抑制作用  
○奥山 聡、神崎 智子、仙波 知暉、澤本 篤志、中島 光業、古川 美子 (松山大薬・薬理)
- P04 チョロギからの Nrf2-ARE 経路活性化物質の単離・同定  
○泉 安彦<sup>1</sup>、片岡 春恵<sup>1</sup>、赤池 昭紀<sup>1</sup>、久米 利明<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京大院薬・薬品作用解析学)
- P05 アデノシン受容体拮抗作用によりカフェインはリン酸化 Akt1 の減少を介して肝星細胞の活性化を抑制する  
○山口 桃生、齊藤 真也、石川 智久 (静岡県大薬・薬理)
- P06 マウス前骨芽細胞におけるビタミン D 受容体を介した中コンダクタンス Ca<sup>2+</sup>活性化 K<sup>+</sup>チャンネル K<sub>Ca</sub>3.1 の活性制御  
○鬼頭 宏彰、森広 晴香、川岸 怜子、榊原 侑香、大矢 進 (京都薬大・薬理)
- P07 エピジェネティック調節薬の代謝調節を介したスニチニブ感受性の増強作用  
○佐藤 洋美<sup>1</sup>、加柴 達朗<sup>1</sup>、藤原 拓也<sup>1</sup>、宇津 美秋<sup>2,3</sup>、清水 彩花<sup>1</sup>、畠山 浩人<sup>1</sup>、樋坂 章博<sup>1</sup> (<sup>1</sup>千葉大院薬・臨床薬理学、<sup>2</sup>国立がんセ・がん患者病態生理研究分野、<sup>3</sup>日本学術振興会)

- P08 食後のエネルギー代謝調節を担う AMPK 活性制御機構  
○宮本 理人<sup>1</sup>、梅本 果奈<sup>1</sup>、上島 沙弥香<sup>1</sup>、友成 奈央実<sup>1</sup>、池田 康将<sup>2</sup>、玉置 俊晃<sup>2</sup>、土屋 浩一郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>徳島大院医歯薬・医薬品機能生化学、<sup>2</sup>徳島大院医歯薬・薬理学)
- P09 脳卒中発症に対する薬用人参の効果  
○桑原 直子<sup>1</sup>、吉江 幹浩<sup>1</sup>、安曇 麻奈<sup>1</sup>、福田 栞<sup>1</sup>、池田 莉帆<sup>1</sup>、大原 彩<sup>1</sup>、黄 穎<sup>1</sup>、岳 广欣<sup>1</sup>、張 宇実<sup>1</sup>、田村 和広<sup>1</sup>、吉岡 芳親<sup>2</sup>、立川 英一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京薬大薬・内分泌・神経薬理学 <sup>2</sup>大阪大・先導的学際研究)
- P10 全身性のインスリン抵抗性は老人斑非依存的にアルツハイマー病モデルマウスに行動異常を誘導する  
○泉尾 直孝<sup>1</sup>、笠原 千尋<sup>1</sup>、村上 一馬<sup>2</sup>、入江 一浩<sup>2</sup>、清水 孝彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>千葉大院医・先進加齢医学、<sup>2</sup>京大院農・生命有機化学)

審査グループ A (P11-P17)

示説：8月25日(金) 11:30-12:30

座長：久米 利明(京大院薬)

- P11 低酸素培養下脳微小血管内皮細胞の細胞増殖に対する HIF-1 $\alpha$ -  
Dynamin2-Kir2.1 シグナルの関与  
○山村 英斗<sup>1</sup>、鈴木 良明<sup>1</sup>、山村 寿男<sup>1</sup>、浅井 清文<sup>2</sup>、Wayne  
Giles<sup>3</sup>、今泉 祐治<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>名市大・院薬・細胞分子薬効解析、<sup>2</sup>名市大・  
院医・分子神経生物学、<sup>3</sup>カルガリー大・運動生理)
- P12 心筋梗塞モデルマウスにおける心筋梗塞時の pH 低下の in vivo  
イメージング  
○萩原 柁<sup>1</sup>、長坂 明臣<sup>1</sup>、伊藤 峻太<sup>1</sup>、仲矢 道雄<sup>1</sup>、浅沼 大祐<sup>2</sup>、廣瀬  
謙造<sup>2</sup>、黒瀬 等<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>九州大学大学院・薬・薬効安全性学、<sup>2</sup>東京大学大  
学院・医・神経生物学)
- P13 K<sub>ATP</sub> channel の開口からみたミトコンドリアの Na<sup>+</sup>-H<sup>+</sup>交換に関する  
考察  
○山口 美月<sup>1</sup>、盆野 桃子<sup>1</sup>、倉本 響<sup>1</sup>、山口 紗季<sup>1</sup>、広瀬 仁美<sup>1</sup>、清  
水 嘉子<sup>1</sup>、土田 勝晴<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>同志社女子大薬・創薬理論科学研究室)
- P14 セルモーションイメージングによるヒト iPS 細胞由来心筋細胞を用い  
た薬効評価技術の基盤構築  
○鈴木 結衣<sup>1</sup>、高橋 健太郎<sup>2</sup>、児玉 昌美<sup>2</sup>、諫田 泰成<sup>2,3</sup>、山口 賢彦<sup>1</sup>、  
古川 哲史<sup>2</sup>、黒川 洵子<sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup>静岡県大薬・生体情報、<sup>2</sup>東京医歯大・  
難研、<sup>3</sup>国衛研・薬理)
- P15 肥満の併発がもたらす ”肺組織インスリン抵抗性” による COPD 病  
態増悪機構  
○野原 寛文<sup>1,2</sup>、亀井 竣輔<sup>1,2</sup>、藤川 春花<sup>1,2</sup>、中嶋 竜之介<sup>1</sup>、丸田 か  
すみ<sup>1</sup>、川上 太聖<sup>1</sup>、Mary Ann Suico<sup>1</sup>、猿渡 淳二<sup>3</sup>、甲斐 広文<sup>1</sup>、首  
藤 剛<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>熊本大院薬・遺伝子機能応用学、<sup>2</sup>熊本大院リーディングブ  
ログラム HIGO、<sup>3</sup>熊本大院薬・薬物治療学)
- P16 TGF- $\beta$ 1 依存のコラーゲン産生抑制を抑制する薬の探索と肺線維症治  
療への応用  
○杉崎 俊文<sup>1</sup>、川原 正博<sup>2</sup>、田中 健一郎<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>京大薬・システムケモ  
セラピー、<sup>2</sup>武蔵野大薬・生命分析)
- P17 脂肪組織由来間葉系幹細胞において高発現する Pou3f1 の機能解析  
○木村 亮介<sup>1</sup>、山口 賢彦<sup>1</sup>、山崎 泰広<sup>1</sup>、黒川 洵子<sup>1</sup>  
( <sup>1</sup>静岡県大院薬・生体情報分子解析学)

審査グループ B (P18-P23)

示説：8月25日(金) 13:00-14:00

座長：米澤 淳(京大病院)

- P18 先天性脂質代謝異常症ニーマン・ピック病C型に対する新規治療薬候補の臨床適用に向けた有効性・安全性評価およびその機構論的解析  
○山田 侑世<sup>1</sup>、石塚 洋一<sup>1</sup>、仲原 周一<sup>1</sup>、近藤 悠希<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>2</sup>、中瀧 直己<sup>2</sup>、江良 択実<sup>3</sup>、東 大志<sup>4</sup>、本山 敬一<sup>4</sup>、有馬 英俊<sup>4</sup>、亀井 竣輔<sup>5</sup>、首藤 剛<sup>5</sup>、甲斐 広文<sup>5</sup>、林野 裕至<sup>6</sup>、杉田 昌岳<sup>6</sup>、菊池 武司<sup>6</sup>、平田 文男<sup>7</sup>、松尾 宗明<sup>8</sup>、檜垣 克美<sup>9</sup>、大野 耕策<sup>10</sup>、入江 徹美<sup>1,11</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大院薬 薬剤情報分析学分野,<sup>2</sup>熊本大 生命資源研究支援センター,<sup>3</sup>熊本大 発生医学研究所 幹細胞誘導分野,<sup>4</sup>熊本大院薬 製剤設計学分野,<sup>5</sup>熊本大院薬 遺伝子機能応用学分野,<sup>6</sup>立命館大 生命科学部 生命情報学科,<sup>7</sup>豊田理化学研究所,<sup>8</sup>佐賀大病院 小児科,<sup>9</sup>鳥取大 生命機能研究支援センター,<sup>10</sup>山陰労災病院,<sup>11</sup>熊本大薬 育薬フロンティアセンター)
- P19 膵β細胞において細胞膨張による TRPV2 活性化はインスリン分泌反応を惹起する  
○澤谷 俊明<sup>1</sup>、金子 雪子<sup>1</sup>、石川 智久<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>静岡県大院薬・薬理)
- P20 ヒトモチリン受容体トランスジェニックマウスにおけるエリスロマイシン誘発胃運動亢進作用の解析  
○高橋 葵<sup>1</sup>、秦 朋子<sup>1</sup>、折本 実栄<sup>1</sup>、松本 健次郎<sup>1</sup>、天ヶ瀬 紀久子<sup>1</sup>、松浦 文三<sup>2</sup>、加藤 伸一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京都薬大・薬物治療,<sup>2</sup>愛媛大・医・生活習慣病・内分泌)
- P21 Helicobacter pylori 誘起胃粘膜病変に対するグルタミン酸の保護効果  
○植村 有加、加納 嘉太郎、小坂 悠里子、松本 健次郎、天ヶ瀬 紀久子、加藤 伸一 (京都薬大・薬物治療)
- P22 術後麻痺性イレウスの病態における TRPM2 の役割  
○中野 拓哉<sup>1</sup>、松本 健次郎<sup>1</sup>、天ヶ瀬 紀久子<sup>1</sup>、堀 正敏<sup>2</sup>、尾崎 博<sup>2</sup>、加藤 伸一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京都薬大・薬物治療,<sup>2</sup>東京大・農・獣医薬理)
- P23 マウス摘出遠位結腸標本における温度感受性 TRPM8 チャンネルを介した自発運動に対する抑制性制御  
○石原 佑基、田嶋 公人、堀江 俊治 (城西国際大・薬・薬理学)

**審査グループ C (P24-P29)**

示説：8月25日（金）11:30-12:30

座長：北村 佳久（立命館大薬）

- P24 慢性逆流性食道炎モデルラットの下部食道における TRPV1 および TRPM8 の免疫組織化学的解析  
○篠木 智晴、田嶋 公人、堀江 俊治（城西国際大薬・薬理）
- P25 デキストラン硫酸ナトリウムを用いた軽度炎症性腸疾患モデルマウスの開発とコリンエステラーゼ阻害薬による抗炎症作用  
○森 安大、田嶋 公人、堀江 俊治（城西国際大・薬・薬理）
- P26 過敏性腸症候群モデル動物の直腸における温度感受性 TRP チャネル発現神経の免疫組織化学的解析  
○山川 拓未、田嶋 公人、堀江 俊治（城西国際大・薬・薬理）
- P27 5-フルオロウラシル誘起腸炎に対するビフィズス菌 G9-1 株の効果  
○松地 里沙子<sup>1</sup>、岡田 沙知<sup>1</sup>、嶋川 真木<sup>2</sup>、松本 健次郎<sup>1</sup>、天ヶ瀬 紀久子<sup>1</sup>、加藤 伸一<sup>1</sup>（<sup>1</sup>京都薬大・薬物治療,<sup>2</sup>バイオフェルミン製薬 R&D センター）
- P28 マウス血管内皮 TRPV4 はデキストラン硫酸ナトリウム誘起大腸炎の病態の進行に関与する  
○成瀬 圭<sup>1</sup>、松本 健次郎<sup>1</sup>、内海 大知<sup>1</sup>、天ヶ瀬 紀久子<sup>1</sup>、富永 真琴<sup>2</sup>、加藤 伸一<sup>1</sup>（<sup>1</sup>京都薬大・薬物治療,<sup>2</sup>生理研・細胞器官・細胞生理）
- P29 GPR35 活性化は大腸上皮遊走促進作用を介して大腸炎を抑制する。  
○泉 大地、塚原 卓矢、松本 健次郎、天ヶ瀬 紀久子、加藤 伸一（京都薬大・薬物治療）

審査グループ D (P30-P36)

示説：8月25日(金) 13:00-14:00

座長：関口 富美子 (近畿大薬)

- P30 慢性腎不全マウスモデルにおける搔痒反応と薬理学的特徴  
○李 嗣凱、張 群、歌 大介、倉石 泰、安東 嗣修 (富山大院・薬・応用薬理学)
- P31 アトピー性皮膚炎マウスモデルの自発的痒み反応における  $\alpha$ -melanocyte-stimulating hormone の関与  
○赤坂 千尋<sup>1</sup>、清水 教子<sup>2</sup>、清水 忠道<sup>2</sup>、安東 嗣修<sup>1</sup> (<sup>1</sup>富山大院・薬・応用薬理学、<sup>2</sup>富山大院・医・皮膚科学)
- P32 慢性接触皮膚炎モデルマウスにおける耳介の肥厚に対するシソ由来カルコン DDC の作用  
○竹田 結花<sup>1</sup>、高鳥 悠記<sup>1</sup>、泉 安彦<sup>2</sup>、赤池 昭紀<sup>2</sup>、久米 利明<sup>2</sup>、土田 勝晴<sup>1</sup> (<sup>1</sup>同女大・薬・創薬理論科学、<sup>2</sup>京都大・院薬・薬品作用解析学)
- P33 I型糖尿病モデルで生じる感覚異常に対する血流障害および TRPA1 の関与  
○緋山 遥<sup>1</sup>、宗 可奈子<sup>1</sup>、矢野 佑一<sup>1</sup>、永安 一樹<sup>1</sup>、白川 久志<sup>1</sup>、中川 貴之<sup>2</sup>、金子 周司<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京大院薬・生体機能解析、<sup>2</sup>京大病院・薬剤部)
- P34 培養シュワン細胞におけるパクリタキセル誘発傷害に対するノイロトロピンの保護作用  
○楊 秋斌<sup>1</sup>、永安 一樹<sup>1</sup>、白川 久志<sup>1</sup>、中川 貴之<sup>2</sup>、金子 周司<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京大院薬・生体機能解析、<sup>2</sup>京大病院・薬剤部)
- P35 pH感受性カリウムチャンネル  $K_{2p}5.1$  結合タンパク CD81 の同定と CD81 による  $K_{2p}5.1$  機能制御  
○遠藤 京子、川田 希帆、大和 優介、佐藤 寿文、鬼頭 宏彰、大矢 進 (京都薬大・薬理)
- P36 アルツハイマー病の新規細胞治療法の開発に向けた末梢血造血幹細胞由来ミクログリア様細胞の機能解析  
○黒田 絵莉子、高田 和幸、河西 翔平、戸田 侑紀、芦原 英司 (京都薬大・病態生理)

審査グループ E (P37-P43)

示説：8月25日(金) 11:30-12:30

座長：安東 嗣修(富山大院薬)

- P37 I型糖尿病モデルマウスにおける神経障害性疼痛に対するアンジオテンシン(1-7)の抑制効果  
○山縣 涼太、根本 互、小瀧 佳輝、中川西 修、丹野 孝一(東北医薬大・薬・薬理)
- P38 Butyrate 誘起過敏性腸症候群モデルマウスにおける結腸の知覚神経過敏におけるCa<sub>v</sub>3.2 T型Ca<sup>2+</sup>チャネルの役割  
○松井 和樹、中野 真希、友近 拳、坪田 真帆、川畑 篤史(近畿大・薬・病態薬理)
- P39 術後痛におけるHMGB1シグナルの役割と治療標的分子としての可能性  
○川端 柚希<sup>1</sup>、坪田 真帆<sup>1</sup>、辻田 隆一<sup>1,2</sup>、西堀 正洋<sup>3</sup>、川畑 篤史<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>近畿大・薬・病態薬理、<sup>2</sup>旭化成ファーマ、<sup>3</sup>岡山大院・医・薬理)
- P40 レドックス状態の異なるHMGB1による機械的アロディニアの発現メカニズムの解析：Toll-like receptor 5、NMDA受容体およびNF-κBの関与とマクロファージの役割  
○中島 夏奈、堂本 莉紗、関口 富美子、坪田 真帆、川畑 篤史(近畿大薬・病態薬理学)
- P41 トロンボモジュリンアルファはトロンビン依存的にHMGB1を分解し炎症性疼痛を抑制する  
○林 佑亮<sup>1</sup>、佐伯 晴香<sup>1</sup>、坪田 真帆<sup>1</sup>、辻田 隆一<sup>1,2</sup>、本田 剛一<sup>2</sup>、川畑 篤史<sup>1</sup> (<sup>1</sup>近畿大・薬・病態薬理、<sup>2</sup>旭化成ファーマ)
- P42 神経障害性疼痛発症における脊髄後角でのHMGB1の役割  
○宮内 一希、張 芳芳、中島 一恵、仲田 義啓、森岡 徳光(広島大院・医歯薬保・薬効解析)
- P43 マウス後根神経節細胞においてthrombomodulin alfaは還元型HMGB1により誘起される神経突起伸長をトロンビン依存的および非依存的に抑制する  
○中武 ゆい<sup>1</sup>、関口 富美子<sup>1</sup>、坪田 真帆<sup>1</sup>、辻田 隆一<sup>1,2</sup>、本田 剛一<sup>2</sup>、川畑 篤史<sup>1</sup> (<sup>1</sup>近畿大薬・病態薬理、<sup>2</sup>旭化成ファーマ)

審査グループ F (P44-P50)

示説：8月25日(金) 13:00-14:00

座長：新谷 紀人(阪大院薬)

- P44 神経障害性疼痛モデルマウスにおけるうつ様行動誘発メカニズムの解析  
○富村 昌暉<sup>1</sup>、中島 一恵<sup>1</sup>、吉井 稔紀<sup>2</sup>、仲田 義啓<sup>1</sup>、森岡 徳光<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>広島大院・医歯薬保・薬効解析、<sup>2</sup>広島大・薬・薬学科)
- P45 海馬 AMPK 活性化による抗うつ作用メカニズムについて  
○小平 貴代、中川西 修、根本 互、高橋 浩平、佐久間 若菜、小野 涼太郎、丹野 孝一(東北医薬大 薬 薬理)
- P46 社会的挫折ストレスによるうつ病モデルマウスにおける脳内 GABA 含有量およびベンゾジアゼピン系睡眠薬の効力変化に関する研究  
○宮山 大<sup>1</sup>、今井 哲司<sup>1</sup>、清水 佑美<sup>1</sup>、辻 光貴<sup>1</sup>、重面 雄紀<sup>1</sup>、西谷 直哉<sup>2</sup>、浅岡 希美<sup>2</sup>、金子 周司<sup>2</sup>、中川 貴之<sup>1</sup>、松原 和夫<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京大病院・薬剤部、<sup>2</sup>京大院薬・生体機能解析)
- P47 不安障害モデルマウスにおける社会心理的ストレスの影響  
○小林 芽以<sup>1</sup>、間宮 隆吉<sup>1,3,4</sup>、新福 ゆい<sup>1</sup>、唐 亜平<sup>4</sup>、衣斐 大祐<sup>1</sup>、鍋島 俊隆<sup>1,2,3</sup>、平松 正行<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>名城大学薬学部薬品作用学、<sup>2</sup>藤田保健衛生大学大学院医療科学専攻 先進診断システム探索講座、<sup>3</sup>NPO 医薬品適正使用推進機構 (NPO J-DO)、<sup>4</sup>ルイジアナ州立大学ヘルスサイエンスセンター)
- P48 注意欠如多動性障害モデルに対するガラントミンの作用  
○森 美奈<sup>1</sup>、間宮 隆吉<sup>1,3</sup>、野口 七瀬<sup>1</sup>、大谷 駿人<sup>1</sup>、衣斐 大祐<sup>1</sup>、鍋島 俊隆<sup>2,3</sup>、平松 正行<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>名城大学薬学部 薬品作用学、<sup>2</sup>藤田保健衛生大学大学院医療科学専攻 先進診断システム探索講座、<sup>3</sup>NPO 医薬品適正使用推進機構 (NPO J-DO) )
- P49 危険ドラッグ 5F-AMB がマウスの行動に及ぼす影響  
○伊藤 志穂<sup>1</sup>、出山 諭司<sup>1</sup>、金子 周司<sup>2</sup>、金田 勝幸<sup>1</sup> (<sup>1</sup>金沢大院薬・薬理、<sup>2</sup>京都大院薬・生体機能解析)
- P50 マウス慢性脳低灌流モデルにおける TRPM2 の病態生理学的役割  
○宮之原 遵<sup>1</sup>、抱 将史<sup>1</sup>、永安 一樹<sup>1</sup>、森 泰生<sup>2</sup>、白川 久志<sup>1</sup>、金子 周司<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京大院薬・生体機能解析、<sup>2</sup>京大院工・合成生物化学)

審査グループ G (P51-P57)

示説：8月25日(金) 11:30-12:30

座長：天野 大樹 (北大院薬)

- P51 一過性脳虚血ラットにおいてフェルラ酸誘導体 FAD012 の予防投与は脳血流を維持し脳障害を軽減する  
○浅野 昂志<sup>1</sup>、遠藤 諒<sup>1</sup>、林 浩輔<sup>2</sup>、岩田 直洋<sup>3</sup>、松崎 広和<sup>1</sup>、坂本 武史<sup>2</sup>、日比野 康英<sup>3</sup>、岡崎 真理<sup>1</sup> (<sup>1</sup>城西大薬・薬品作用学、<sup>2</sup>城西大薬・医薬品化学、<sup>3</sup>城西大薬・生体防御学)
- P52 微量金属元素のホメオスタシス崩壊が導く神経細胞死の誘導とヒト血清アルブミン融合型チオレドキシシン (HSA-Trx) の有効性の検討  
○下田 実可子<sup>1</sup>、田中 健一郎<sup>1</sup>、川原 正博<sup>1</sup>、石田 竜弘<sup>2</sup>、異島 優<sup>2</sup> (<sup>1</sup>武蔵野大薬・生命分析、<sup>2</sup>徳島大院薬・薬物動態)
- P53 過酸化水素誘導性細胞死における NF- $\kappa$ B-HDAC2 シグナルの役割  
○吉田 朱里、衣斐 大祐、間宮 隆吉、平松 正行 (名城大学薬学部薬品作用学研究室)
- P54 ベタイン連続飲水摂取による amyloid- $\beta$  peptide (25-35) 誘発学習・記憶障害抑制作用における SIRT1 遺伝子の関与  
○近藤 早梨、野村 知弘、衣斐 大祐、間宮 隆吉、平松 正行 (名城大学薬学部薬品作用学研究室)
- P55 アルツハイマー病モデルマウス海馬への骨髄由来ミクログリア様細胞移植における移植細胞の機能と脳内動態解析  
○河西 翔平<sup>1</sup>、高田 和幸<sup>1</sup>、射手園 将真<sup>1</sup>、長山 紘子<sup>1</sup>、黒田 絵莉子<sup>1</sup>、地寄 悠吾<sup>2</sup>、戸田 侑紀<sup>1</sup>、中田 晋<sup>3</sup>、矢野 義孝<sup>2</sup>、芦原 英司<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京都薬大・病態生理、<sup>2</sup>京都薬大・臨床薬学教育研究センター、<sup>3</sup>京都薬大・臨床腫瘍)
- P56 新規認知機能改善薬 SAK3 の薬効及び体内動態評価  
○佐藤 恵太<sup>1</sup>、泉 久尚<sup>1</sup>、福永 浩司<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大院薬・薬理学)
- P57 薬物誘発パーキンソン病モデルにおける神経障害への exosome の関与解明  
○堤 麗帆<sup>1</sup>、関 貴弘<sup>1</sup>、大島 睦<sup>1</sup>、倉内 祐樹<sup>1</sup>、久恒昭哲<sup>2,3</sup>、香月 博志<sup>1</sup> (<sup>1</sup>熊本大学・大学院生命薬科学研究部・薬物活性学分野、<sup>2</sup>熊本大院・先導機構、<sup>3</sup>熊本大・リーディング大学院・HIGO プロ)

審査グループ H (P58-P64)

示説：8月25日(金) 13:00-14:00

座長：金田 勝幸(金沢大院薬)

- P58 In vivo パーキンソン病モデルを用いたミトコンドリア局在タンパク p13 の機能解析  
○小椋 紗恵<sup>1</sup>, 井上 直紀<sup>1,2</sup>, 新谷 紀人<sup>1</sup>, 笠井 淳司<sup>1</sup>, 中澤 敬信<sup>1,3</sup>, 吾郷 由希夫<sup>1</sup>, 早田 敦子<sup>1,4</sup>, 勢力 薫<sup>1,2</sup>, 橋本 均<sup>1,4,5</sup> (<sup>1</sup>大阪大院・薬・神経薬理, <sup>2</sup>大阪大リーディング大学院・生体統御ネットワーク医学教育プログラム, <sup>3</sup>大阪大院・歯・薬理, <sup>4</sup>大阪大院・連合小児発達, <sup>5</sup>大阪大・データビリティフロンティア機構)
- P59 マイクログリアによる歯状回神経回路の精密化  
○笠原 由佳、上田 英輝、小山 隆太、池谷 裕二 (東京大・薬・薬理)
- P60 接近-回避の葛藤における海馬神経活動の解析  
○岡田 桜、井形 秀吉、佐々木 拓哉、池谷 裕二 (東京大院薬・薬品作用)
- P61 柑橘成分ヘプタメトキシフラボンはマウス海馬において慢性ストレスによって惹起される BDNF 発現抑制、神経新生抑制、神経ネットワーク障害を改善する  
○澤本 篤志<sup>1</sup>、奥山 聡<sup>1</sup>、山本 加奈<sup>1</sup>、天倉 吉章<sup>2</sup>、好村 守生<sup>2</sup>、中島 光業<sup>1</sup>、古川 美子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>松山大院薬・薬理、<sup>2</sup>生薬)
- P62 ニーマン・ピック病 C 型における抗てんかん薬の有用性の検討  
○芦川 仁美<sup>1</sup>、中村 浩之<sup>1</sup>、村山 俊彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>千葉大院・薬・薬効薬理学)
- P63 小脳の発達期組織形成における VGF の役割  
○溝口 貴洋、大内 一輝、嶋澤 雅光、原 英彰 (岐阜薬大・薬効解析)
- P64 インスリン様成長因子-1 の中枢体温調節機能におけるプロスタグランジン E<sub>2</sub> とインターロイキン-1 $\beta$  の関与  
○中本 安奈、内川 和音、鮫元 栞、野澤 里奈、森 恵梨香、竹内 桃果、岩田 怜奈、稲掛 綾香、津嶋 宏美 (金城学院大・薬・薬)

